

まちの話だい

7月27日 | 考案レシピを楽しく調理

「中学生料理バトル」がプラザおおりと保健福祉センターはなみずきで開催され、市内の中学生9チーム34人が料理に腕を振りました。

テーマは「魚の主菜」「野菜の副菜」「具たくさん島田汁」。生徒たちは、お茶やシイタケ、レタスなどの地場産品を使い、味付けや彩りに工夫を凝らしたメニューを完成させました。優秀賞を獲得したレシピは今後、学校給食の献立に採用されます。



7月31日 | 本番に向けて爽快ラン

フルマラソン完走を目指す初心者や中級者を対象に、第1回「しまだ大井川マラソン完走塾」が地域交流センター歩歩路で開かれました。

参加者は、ランニングの基礎知識や効果的なストレッチ方法などを学んだ後、陸上競技場までランニング。講師の指導で正しいフォームを意識しながら大井川マラソンコース「リバティ」を走り、川風を感じながら爽やかな汗を流しました。

8月10日 | 夏の夜空を彩る大輪の花

「第29回大井川大花火大会」が開催され、約8,000発の花火が、大井川の島田・金谷両岸で見物する多くの観客を魅了しました。

今年のオープニングは「島田市緑茶化計画」を表した緑茶色の花火。続いて音楽に合わせた創作花火など、工夫を凝らした作品が次々と打ち上げられました。夜空に咲いた大輪の花々に、両会場からは大きな拍手と歓声が上がりました。





8月3日 | 笑顔が生まれる自然体験

福島県南相馬市の小学生 20 人を招待した「福島の子どもたちと夏休みプロジェクト」が、山村都市交流センターささまで開かれました。

夏休みの間だけでも、伸び伸びと外遊びをしてほしいとの思いから、県勤労者山岳連盟が主催。子どもたちは、スイカ割りや川遊びを楽しんだ後、バーベキューをして地元小学生との交流を深め、たくさんの笑顔を持ち帰りました。

8月20日 | 避難所での不便を体感

五和小学校体育館で「防災体験合宿」が行われ、市内の児童 23 人が本格的な一泊二日の避難所生活を体験しました。

いつ直面してもおかしくない地震災害に役立てようと、市子ども会連合会が企画。子どもたちは段ボールベッドや新聞紙スリッパなどを製作し、非常食を食べて就寝。防災知識と意識が、災害時に自分や家族を守ることを学びました。



8月15日 | 息を合わせて全速前進

川根町家山の野守の池で「野守まつり」が開かれ、毎年恒例の「和船漕ぎ大会」が行われました。

2 人 1 組で乗船し、約 120m 先のゴールを目指すレース 6 部門に、今年は 43 組 86 人が出場。選手たちは、湖畔から大きな声援を受けながら懸命にオールを漕ぎ、熱いレースを繰り広げました。また夜には、盆踊りや灯籠流し、花火大会が行われ、来場者を楽しませました。